



# こうちやん市議会だより

No.17

平成22年9月1日発行

## 第27回定例会

◎市長諸般の報告 .....P2

◎一般質問 .....P4

◎議案審議・結果 .....P17

発行○高知県香南市議会  
発行人○高知県香南市議会議長

## 第27回

# 香南市議会定例会

6月2日から11日まで開催され、専決処分5件の報告と一般会計補正予算など15議案が審議され可決された。

## 市長諸般の報告



行っている。

### 県道崩落事故

五月二十四日に、香我美町別役の県道「奥西川岸本線」の路肩部分が約三十メートルにわたって崩落し、民家の一部が損壊した。今後、市内危険箇所の一層の調査を進め、対策を講じる。

### 国勢調査の実施

本年十月一日を基準日として、国勢調査が実施される。調査結果は、国や県、市の基礎資料として活用され、学術、教育機関、企業など幅広い分野で利用され、地方交付税の算定にも用いられる。

### 自衛隊

三月末までに隊員や家族約八百人が本市に転入したと推計さ

れ、商業・地域の活性化につながるものと考えている。交通量の問題は、通勤経路を車とバイク・自転車に分散する対応を

### 市総合防災訓練

市総合防災訓練を、九月五日佐古小学校を主会場に実施する。自主防災組織、地区自治



香我美町別役の県道崩落現場

会、消防団、女性防火クラブのほか、多くの市民の参加、ご協力をお願いする。

### 健康対策事業

各種検診事業の無料化について、十二月議会で概要を報告する。

特定健診では、尿酸とクレアチニンの検査を追加し、高血圧対策として、血圧の正しい計り方や測定・記録する習慣づくりをモデル事業で実施する。女性特有の乳がん・子宮がんについては、昨年度に引き続き一定年齢の方に「無料クーポン券」を配布し、受診を勧奨する。

### 戸別所得補償モデル対策

「戸別所得補償モデル対策」の加入申請受付を、四月十一日から五月十三日まで、農政事務所、水田協議会、JA土佐香美と行った。その結果、五月二十五日現在で、対象者二千三百五十一人に対し千四百七十四の方が申請している。六月末が加

入申請期限であり、未申請者に再通知を行うなど、関係機関と協力し推進する。

### 小中学校に教育支援員

発達障害や不登校傾向など、

特別な個別支援を要する児童生徒への支援にあたる特別支援教育支援員を十二人、学習活動や生活指導の支援、図書館の整備充実にあたる教育活動支援員を八人。小中学校のICT（情報通信技術）の活用推進などにあたる支援員を一人、それぞれ配

置した。

このほか、スクールカウンセラーを四人、子どもと親の相談員一人、不登校いじめ学習支援員を二人、中学校の放課後学習の充実のための学力向上対策非常勤講師を各校へ一〜二人、放課後パワーアップ教室学習指導員を四人程度配置する予定。

さらに、中学校卒業後不登校傾向となっている森田村塾在籍であった生徒への支援にあたる教育支援センター支援員を一人、家庭を含む子どもを取り巻く環境改善支援の役割を担うスクールソーシャルワーカーを一人、教育支援センター「森田村塾」に配置する。

また、小学校から中学校への移行をよりスムーズに行い、小学校高学年での複数の教員の関わりを進めるために、理科や音楽の小学校専科非常勤講師を配置する予定。

### 統合給食センター

学校教育課給食係に給食センター建設専門員を配置すると共に、教育次長と学校教育課長の

兼務を解き、次長が給食センター建設事業を所管する事務局体制を整えた。

また、市統合給食センター建設検討委員会は、保護者代表委員三人を六人に、栄養教諭など二人を四人に増員するなど、保護者や給食現場の意見が反映できる委員会とした。そして、これまでの検討事項を調査・研究するため、食育・アレルギー食・送計画策定部会、調理ライン検討部会及び農産物地場食材供給部会の各作業部会を設け、六月下旬をめどに調査研究を行っている。今後、保護者などによる先進地視察を行い、各作業部会での調査内容などを整理し、六月下旬から七月上旬に委員会を開催。七月中旬から下旬にかけて各地区で説明会を開催した上で、検討委員会として意見をまとめていただき、八月下旬には給食センターの建設方針を決定したい。



炎天下の中の稲刈り

● 市政を問う ●

# いっぱん質問

13人登壇

## オンデマンド交通システムの早期導入を



西内治水議員

高齢者は交通手段に困っている。通院・買い物・銀行その他が可能なオンデマンド交通システムの早期導入をせよ。  
また、低炭素社会実現のため、ハイブリッドハイヤーに購入補助制度はないか。

### 答 再度実証運行を

仙頭 市長

オンデマンド交通システムの実証運行を昨年に続き九・十月に行う。効率的運行を市バス検討委員会で、十二月までに取りまとめ、二十三年度から公共交通体系に反映さす。また、国の低公害車普及促進対策費補助金制度はあるが、ハイブリッドハイヤーは申し込み多数で、予定

枠を終了している。補助内定が受けられなかった者で、九月までに登録が完了する場合、環境対策車購入補助制度の活用が可能である。

### 問 工事の迅速な実施を

市道などの局部的崩壊は、災

### 答 鋭意努める

久保 建設課長

害対策事業面積を満たしていないと、普及工事はできない。災害待ちでは通行ができない。また、用地提供などの改良工事の迅速な実施をせよ。

被災延長などの関係で災害用件にかからない場合は、現地状況を確認し通行の確保など必要な工事については、関係補助事



オンデマンド交通システム実証運行車両

### 問 将来の維持管理は

水道施設のタンク内のおろ過材の入れ替えや清掃などの維持管理を将来どのように対応するか。

### 答 協議の上で

北野 上下水道課長

現在条例では、夜須町国光や細川・羽尾地域の簡易水道施設及び飲料水供給施設の管理運営を地元水道管理組合に委託している。

維持管理が困難な状況になった場合、各組合と協議を行い地域の誰もが、安心して飲める給水に努める。

# 香南市の将来像は



中元源一議員

本年四月市長選挙において、「香南市としての基礎を確立させる、仕上げの四年間とした」と発言があったが、市の将来像をどのように考えているのか。

## 答 基盤を確立させ 観光振興へ

🎤 仙頭 市長

今後四年間で、①環境と調和のとれたまちづくり②災害に強いまちづくり③産業振興と道路交通網の整備④健康づくりと福祉の充実⑤教育・文化・スポーツの振興などに努め、市の基盤を確立したい。

将来像としては近隣市と共に滞在型の観光振興に取り組みたい。

## 問 更なる行財政改革の推進を

自立した行財政運営のために、財政改革大綱、集中改革プラン、財政健全化計画などによる運営の効率化を図っていると思う。

行政評価制度と人事評価制度の現状と今後の取り組みは。

## 答 計画は予定どおり 進行中

🎤 安井 総務課長

行政評価制度は、二十一年度

から構築・導入し、本年度は、全事務事業の試行評価を行い、二十三年度から評価結果を予算などの行政改革に活用したい。

人事評価制度は、二十一年三月の人材育成基本方針に基づいた「人事評価マニュアル」を作成し試行に入った。二十三年度からは対象を全職員にし、二十四年度から本格的に実施したい。

## 問 自治基本条例の制定はいつか

十八年と二十年の九月定例会に、条例制定の必要性を提言し、市長もそれを認めた。四年も経過したが、いつ制定するか。

## 答 今任期中には 制定する

🎤 仙頭 市長

条例制定には、市民参加による策定委員会を立ち上げ、十分な協議を行い、パブリックコメントを受けながら、時間をかけて制定する必要がある。

現在、地域担当者制を導入し、地区自治会・まちづくり協議会の立ち上げや再編に取り組みしており、市内全体で組織された段階で、代表者などの参加をいただき、今任期中には策定したい。

## 問 公金管理体制は

収入役制度の廃止に伴い、本年度より会計課を設置し、会計管理者において出納業務を行っている。通常の出納業務、基金の管理など公金管理をどのような体制で行うのか。

## 答 公金管理適正化 方針を作成

🎤 仙頭 市長

会計事務を司る職務上、独立した機関を置く必要があり、職員のうちから長が任命する会計

管理者を置き、会計管理者は、収入役の職務を引き継いでいる。

会計管理者制度に改正されても、そのチェック体制を変更するものではない。条例及び規則などの決着規定に沿った公金管理を行う。

また、公金管理適正化方針を作成し、チェック体制の強化を進める。

## 問 吉川町の 教育行政体制は

吉川町において、教育委員が不在になった。

保育所・小学校や社会教育施設など多数あるが、今後、どのような体制で取り組むか。

## 答 全体として 取り組む

🎤 仙頭 市長

合併当初は、五町村から各一人の教育委員で実施してきた。吉川町については、教育委員会委員全体で取り組む。



吉川小学校児童がつくったらっきょう

# 教育委員任命の根拠は



齊藤朋子議員

地方教育行政の組織及び運営に関する法律には「委員の任命に当たっては年齢、性別、職業などに著しい偏りが生じないように配慮する」とある。  
学力・不登校・給食センター問題など、委員の中に学校現場の経験者が必要と思うが、市長の任命の根拠は何か。

## 答 幅広く任命

🎤 仙頭 市長

法律では「本市に住み、地方公共団体の長の被選挙権を有し、人格が高潔で、教育・学術及び文化に関し識見を有するもの」とされており、これを参考に、幅広く委員を任命した。

## 問 選挙戦の結果と市民の評価は

合併後、地域間格差の拡大や市民サービスの低下など、市民の不満や批判の声も多く、選挙の結果は四二%と過半数に及

## 答 一定の評価は得た

🎤 仙頭 市長

厳しい戦いだったが、四年間の市政運営については、多くの

はず、無効票も多かったと聞く。二期目の選挙戦の結果と合併後四年間の市民の評価を、どう受け止めたか。



元気に遊ぶ子どもたち

## 問 教育長の所信は

教育は「国家百年の計」とも言われ、教育行政のトップである教育長は大変重要なポストだ。

「愛あふれ、明日を拓く香南っ子」のキャッチフレーズのもと、この四年間、どのような教育理念で邁進するのか、所信を問う。

## 答 幼児期の教育が重要

🎤 別役 教育長

保護者の要望として、まず学力や基本的な判断力を身につけ、基本的な社会ルールを守るなどがある。いろんな課題は、時代時代に応じた対策を講じる。

今年から新たに「保幼小中連携」に取り組むが、幼児期の教育が一番大事だ。子どもたちに

## 問 どうする、今後の国保運営

本市は、合併後十九年度と二十一年度の二度にわたり、国保税率を引き上げ、最高限度額も地方税法の改正とはいえ、毎年上昇を続け、基金も底をつく。これ以上、市民への負担を強いることはできないと思うが執行部の見解は。

## 答 国庫負担率の増加を要望

🎤 西村 市民保険課長

歳入で賄えない医療費の増加分を、国保税率を引き上げることと賄うには限界がある。これまで以上に税の徴収に努力し、医療費の適正化を図っていく。国では「高齢者医療制度改革会議」が設置され、国保を含めた医療制度の見直しが議論されているが、国に対して国庫負担率の増加を要望していく。

二十一年度決算額が確定したので、具体的な方策については、早い段階で国保運営協議会や議会に諮る。

芸術の良さも知ってもらい、社会教育の支援もしてゆきたい。

# ペレットの普及に どう取り組む



野島利英議員

五月三十一日の説明会への農家参加状況やホワイトペレットと半炭化ペレットとの比較実証実験の結果はどうだったのか。

また、今回導入する十五台へのペレットの供給体制、現在産業廃棄物扱いの焼却灰の対応は進んでいるか。

## 答 研究ついで

●谷山 環境対策課長

参加農家は九戸。農家よりホワイトの設置申し込みは六月十日まで受付をし、審査を行い利用農家を決定、ホワイト設置工事は九月をめどにする。

半炭化ペレットの発熱量は、ホワイトペレットの発熱量より約二二％高い。燃焼灰発生量で

はホワイト〇・二四％に対し、半炭化一・一％と多い結果となった。

ペレット燃料の供給はJAを通すこととしているが、また燃料タンクまでの配送体制が整備されていないので、ペレットホワイト納入業者での供給を考えている。

灰の処分は各農家で一時保管後、農家によってJAに集積し、業者に依頼して処分する体制作りを検討している。一方で灰の有効利用については、特殊肥料などとして利用することも、香美市・南国市や県と研究していく。

## 問 半炭化ペレットを 基本に考えているか

●香南・香美地域新エネルギービジョン詳細ビジョンに沿っての調査は半炭化ペレットを基本とするのか。またビジョンで計画をしているペレット工場建設は、いつごろをめどと考えているのか。

## 答 三市で 合意形成を図る

●仙頭 市長

ペレット燃料については、今後の工場建設費やランニングコストの経済性試算が必要だ。工場建設には、建設費はもちろん事業主体、燃料の生産や供給体制、安心して使えるホワイトの普及など、さまざまな条件を整える必要がある。三市で継続した取り組みを行い、流域内の合意形成を図っていく。

## 問 組織作りは 進んでいるか

●自治会、まちづくり協議会、

各旧町村単位での現況と今後の取り組みは。市の職員を各地域に割り振っているが、地域で十分な対応ができていくか。

## 答 積極的に取り組む

●仙頭 市長

香我美町では、合併前よりまちづくり協議会が各地域で組織され活動を行っている。赤岡町では、九つの自治会組織案のうち、二つの自治会が設立され活動を始めた。野市町では、みど

り野地区で、まちづくり協議会が発足し、三つの自治会が活動している。夜須町では、十地区の自治会組織案の内、三つの自治会が活動している。吉川町では、合併前に九つの自治会が設立され、

本年二月にまちづくり協議会設立準備会が結成され、来年度に設立すべく取り組んでいる。

職員を各地域に割り振り、住民との話し合いの場づくり、組織づくりなどに取り組んできたが、さまざまな課題に直面し、立ち止まっている地域もある。再度、職員間で勉強会や話し合いを行い、今まで以上に積極的に取り組んでいく。

## 問 中学校放課後 学習の内容は

●学力向上対策非常勤講師、放課後パワーアップ教室学習指導員の活用方法を聞く。

## 答 各校の実態に 合わせて計画する

●伊藤 学校教育課長

授業の補充学習や入試対策として、希望生徒や個別指導を必要としている生徒に各校が実態に合わせて行っている。指導教科は英語・数学を中心とする五教科あり、指導内容や実施時間・時期などは各校が計画する。学力向上非常勤講師は六月一日から四校へ配置しており、学習指導員は各校の実施状態に応じて順次配置する。



放課後パワーアップ教室

# 姉妹都市連携のメッセージを



山崎 朗議員

前政権は「政治と金」そして、米軍基地問題で国民の信を失い、政権を投げ出した。

国内どこにも地元合意を得られる場所はない。無条件撤去せよという考えである。高知県知事も明確に県への基地移転に反対した。沖縄県八重瀬町と本市は姉妹都市である。首長として平和への連携のメッセージを送るべきでは。

## 答

**政府は安全安心の生活に真摯な取り組みで**

🎧 仙頭 市長

米軍基地問題は、政府・国民にとって最重要課題と認識している。沖縄県民の騒音への苦悩や日常生活での安心安全への取

り組みに政府として問題解決に真摯に取り組んでいただきたい。

## 問 財政運営今後の取り組みは

長期財政計画では十年後に約十億円の収支不足という厳しい見通しが出た。財政規律と共に市民生活を守る市政運営の理念が必要だ。改革大綱や集中改革



香南市みなこい港まつり実行委員会

姉妹都市沖縄県八重瀬町のエイサー

## 答 計画を策定する

🎧 安井 総務課長

国からの指針はないが、第一次集中プランを基にして、次期五年間の計画を策定する。

## 問 中学校卒業まで医療費の無料化を

市民へのアンケート調査では、三六%の方が中学生までの医療費無料化の拡充を望んでいる。現在、県内で四割の自治体が中学校卒業まで無料である。本市でも早急に実施する考えはないか。

## 答 今後検討する

🎧 仙頭 市長

本市は一月から小学六年生まで対象年齢を拡大した。しかし、子育て家庭の経済的支援から重要な施策なので、財政面や近隣自治体の状況などを考慮し、今後の検討事項とする。

## 問 柔軟な日程調整を

市民の会が主催し、学校給食を考えるシンポジウムに市長もパネリストとして出席し盛大に開催された。意見を異にしても互いに真摯に耳を傾ける催しが開かれた意味は大きい、教育委員会としての感想を問う。

七月に市民への説明会、八月に方針の決定など今後の日程が早急すぎる。深い問題だけに、あらかじめの結論を持って、それに近づけるがために理由づけをしてはならない。最大限の合意を得るためにも柔軟に対応すべきだ。

## 答 八月末には固執しない

🎧 別役 教育長

食育や地産地消とともに、行政・学校・保護者や地域が互いに共通点で協調し合い、共に育てていくことの大切さを実感した。早急な整備が必要な野市給食センターの現状もあり、一つの目標として八月にしたが、十分な時間も必要であり、固執する考えはない。

## 負担能力を超えた保険税



山本孝志議員

国保は被保険者の四九・七％が七割・五割・二割の減額措置を受ける低所得者が多く、財政基盤は弱い状態である。

他の医療保険と違い事業主負担がなく、国の支出金と加入者の保険税で運営しており、国庫補助率が四五％から三四％に削減されたため、本市と国保加入者に負担が、重くのしかかっている。また、二十二年度分から課税限度額が、引き上げられ七十三万円となったため、一層の負担増となっている。少子高齢化が急激に進み、若年層が減少し、医療にかかる高齢者が増加し、国保財政は悪化し、所得割・均等割・平等割の課税分が増税となる。限度額七十三万円があるため、中間所得層の増税とな

る。国保財政の悪化の一番の要因は、医療給付の増大にあり、今以上に危機感を持って予防早期治療などの事業を推進していかなければならない。しかし早急に考えなければならぬのは、基金から、二十一年度には九千五百万円、二十二年度には七千万円の繰り入れをしているが、二十三年度には基金が底をつく。二十三年度以降はどうするのか。また、現在半数の世帯が減額措置をうけており、減額分の四分の一が一般会計からの繰り入れであるが今後の社会情勢を考えると減額世帯が増えてくる。これは税収が減少し、減額分の一般会計からの繰り出しが増加していくことになり、国保財政も市の財政も厳しい状況になる。国保を支えている世帯の保険税は負担能力を超えた保険税となっており、国保加入者だけでの負担はするべきでない。将来にかけて、持続可能な国保にするための取り組みは、

### 答 税率に上乘せするだけでは限界

西村 市民保険課長

課税所得の減少から、所得割の減収は顕著であり、財源不足を補う歳入を作る必要がある。

これを国保税率に上乘せするだけでは限界がある。一般会計からの財源措置として、財政安定化繰入金を二十一年度から、全額繰り入れを行っている。今後、国の動向を見ながら、



みんなで遠足 (吉川小学校)

医療費の適正化を図り、国保税の徴収に一層努力していく。

### 問 児童数減少への取り組み

岸本小学校と吉川小学校では、児童数の減少により、将来は複式学級か学校の統廃合を考えなければならぬ。

修学旅行においては団体割引がきかず、旅行代金の割高な点や児童クラブ・子どもプランなどの事業を児童数の少ない学校では進めにくい。

児童数の少ないことで起こる弊害をなくし、学校間の教育の均一化を図らなければならぬ。少子高齢化が今後、いっそう進み児童数も減少していくが、取り組みは、

### 答 小規模特認校制度導入を考える

伊藤 学校教育課長

岸本小学校は小規模特認校制度を制定し、市内全域からの入学を可能にしており、吉川小学校についても今後の児童数を見ながら、導入を考える必要がある。

## 統合給食センター 統合ありきか・変更の余地は



西内俊夫議員

諸般報告で、四つの作業部会を立ち上げ、意見や要望に対して調査研究をし、七月中旬から各地区説明会を開催し、検討委員会の意見をまとめ、八月下旬には、給食センターの建設方針を決定したいと報告があった。

これは不安や要望を聞き、統合給食センターありきで進むのか、それとも変更の余地もあるか。

### 答 統合ありきではない

仙頭 市長

現在、四つの作業部会で四千食の統合給食センターでは、具体的などのような対応ができるか、できないかなどそれぞれのテーマで調査・研究を行っている。

る。

各作業部会の調査報告や先進地視察、各地区での説明会の意見内容などを検討委員会で審議し、計画どおりに進めるか、計画を見直していくつかに分けるかなど、委員会としての建設方針を決定してもらおう。その上で、私が最終的な判断をする。決して統合ありきで進めるものではない。

### 問 作業部会の作業内容は

これまでの検討事項を調査するため四つの作業部会を設け、部会が調査していると報告があったが、検討委員会が四つのグループに分かれるか。それとも委員会以外の人で構成しているか。

この作業部会は、統合になった時心配とされるとして出された検討事項解決の場合、それとも単純に学校給食を考える場合か。

### 答 検討委員会とは別組織で研究

松木 教育次長

作業部会は検討委員会とは別組織で、統合給食センターの場合、食育や地産地消、アレルギーなど心配される内容や、改善点なども検討し、具体的にどんな対応ができるか、また、計画を見直さなければ対応できないかなどの事項について調査・研究をしている。

### 問 「地産地消」市の事業として取り組み

学校給食で地産地消が大きくなり上げられているが、「香南市食育推進計画」もでき、市の食育に対する取り組みが打ち出されている。

地産地消は、市の基幹産業を見直し活性化させるよい機会である。まず市が市の事業として関係各課・関係機関・関係者などで協議し取り組むべき課題ではないか。

### 答 組織化し今後取り組む

仙頭 市長

本市のたぐさんの幸を活かし

た地産地消を推進し、食育推進計画と併せた取り組みを進める上でも、生産者や消費者、流通関係者及び行政などが一体となって推進していく必要がある。

そのために、推進協議会といった組織化も必要であり、今後取り組んでいく。

### 問 「県道春野赤岡線」歩道整備 県に働きかけを

県道春野赤岡線の吉川町千鳥橋から東へ国道との交差点の間は、生徒や保護者から通学・通

勤時に非常に危険なので歩道整備の要望がある。県に強く改善を働きかけよ。

### 答 早期完成県に要望強化

久保 建設課長

危険な状況にあることは認識している。毎年、市長を先頭に要望し取り組んでいるが、工区の箇所付けなど、連絡調整会議などで協議しながら、早期完成に向けて要望を更に強化し市としてもできる対応を推進していく。



歩道整備が望まれる県道春野赤岡線

# 地産地消の大切さ 多面的な観点から問う



矢野佳仁議員

県の産業成長戦略に地産地消が掲げられ、本市食育推進計画や学校給食を考えるシンポジウムでも、その大切さが話されていた。具体的にどのように進めていくのか。

食育・地域・産業学習などの教育観点から、また、一次産業の振興、健康づくり・食育の推進という観点から、それぞれどう考えているか。

## 答 農産物地場供給部会で

仙頭 市長

現在、農林課を中心に、JA土佐香美、同夜須支所女性部、(株)赤岡青果市場、(有)野市青果、あぐりの里な



らっきょう剥き体験ツアー

どで構成された農産物地場供給部会で、納入計画が検討されており、今後、具体的に進んでいくと考える。

## 答 学校給食での食育は大切

松木 教育次長

顔の見える関係や地域とのつながり、食事の大切さや食の自立、地産の食材をどうしたらおいしく食べられるかを、学校・家庭・地域が一緒になって考えるなど、学校給食での地産地消

を活かした食育は大切だと考える。

## 答 推進体制の構築に取り組む

山本 農林課長

物部川地域アクションプランで、「地産地消・食育の推進」を重点的に取り組む施策としている。本市において、直ちには困難であるが、先進地の南国市を研修し、市としての推進体制の構築に取り組む。

## 答 重点目標掲げ普及・啓発

宮崎 健康対策課長

地産地消の推進は、本市食育推進計画の重点目標の一つ。食生活改善推進員の伝達講習で地産地消レシピの普及を図る一方、旬の地域食材を使った朝食作り、若い世代の講習会などを通して、普及・啓発、消費拡大を図る。また、十二の地場産品のキャラクターを作成し、PRを図る。

## 問 地産地消を地域の再生策に

地産地消を高年齢者給食や企業

の厨房、市内各商店へとつなぎ、カット野菜工場や産直レストランなど、新たな産業と雇用の創造、地域再生の取り組みにできないか。

## 答 人材を養成し、支援する

仙頭 市長

本市をはじめ県・南国市・香美市が高知大学と共に人材養成をしている。行政もできる支援をする。

## 問 市民参画の計画設計を

岸本防災コミュニティセン

ターの建設にあたってどのような手順で、市民参画を図り、計画を作り上げていくのか。また、リーダーの育成や情報の提供、住民相互研修の機会が必要だと思いが、どうか。

## 答 地区組織と協議し計画作成

宮田 防災対策課長

用地取得と設計業者選定の準備を進め、六月中には設計業者を決定する。準備が整い次第、まちづくり協議会及び自主防災

組織の方と協議を重ね、本年度内に実施設計を作成する。

また、防災組織を中心とした防災訓練や講習会の実施、防災に関する情報提供を行う。

## 問 雇用対策 二事業の連携を

香南まるごとブランド戦略事

業と地域雇用創造実現事業との連携はできているか。地域産物のブランド化は、観光協会に丸投げするのではなく、市がビジョンを持って行え。

雇用創造協議会の目標である雇用実現の見通しはどうか。

## 答 各機関の連携・協働支援で

久武 商工水産課長

二事業の内容の調整や双方の事業支援で、円滑に進める。ブランド化では、行政内部の連携を行い、JAや漁協など事業関係機関と連携し、当受託事業先を支援していく。

現時点では、雇用拡大には厳しいものがあるが、新たな採択の事業との連携で目的達成は可能である。

# 分庁方式の苦情は



岡崎 健議員

現在の分庁方式で市民からの苦情や要望の集約した数値を示せ。多い苦情や要望は何か。

## 答 トラブルはない

☎ 光明院 財政課長

集約した数値はない。合併当初は、お叱りを受けたが、五年を経過しご理解を得ていると考える。大きなトラブルもなく分庁方式が定着したと考える。

## 問 新庁舎建設費を除く費用は

二十三年から五力年で総工事費二十五億二千万円の計画である。このうち、新庁舎関係建設費を除く費用と、補助金を除く市の負担額の差額はいくらか。

## 答 建設費は五億三千万円

☎ 光明院 財政課長

新庁舎の建設計画は北庁舎の全面改築、本庁舎耐震改修と周辺整備である。北庁舎の全面改築費を除くと工事費は五億三千万円、負担額の差額は約二億七千万円である。

## 問 本計画への民意の集約方法は

本計画で市民の意見をどのような方法で聞くのか。

## 答 検討委員会に市民代表を

☎ 仙頭 市長

庁舎建設委員会の設置を考えている。委員として執行部だけでなく、議会、各種団体や地域審議会委員代表の参加を考えている。

## 問 現計画の変更は

北庁舎の改築費を除く計画で

の市負担額は、現計画に比べて極端に少ない。仮に分庁方式で市民の理解が得られた場合、新庁舎建設計画を見直す考えはあるか。

## 答 検討委員会の意見聞く

☎ 仙頭 市長

分庁方式では迅速な指揮命令や事務連絡に支障があり、複数の課に用件がある時に市民に不便をかけており解消したい。今後、検討委員会の意見を聞き検討する。

## 問 アクセス道改良は

庁舎へのアクセス道は周辺の土地利用整備が必要と考える。市道新宮深淵線の改良構想は。

## 答 二十五年度から計画

☎ 光明院 財政課長

庁舎建設にあたっては、アクセス道改良の検討が不可欠である。中期財政計画で二十五年度から二十七年に市道新宮深淵



市道新宮深淵線から望む市役所

線の改良を計画している。

## 問 定期的に市民との意見交換を

市民要望があつて地域に Outreach ではなく、定期的に地域との意見交換の機会をつくれ。

## 答 必要なこと

☎ 仙頭 市長

住民自治組織設立を含め、さまざまな事業などを行う中でも、地域の意見を聞くことは必要である。今まで以上に各地域

## 問 地区担当制を

地区担当制を採り、よりきめ細かな市民サービスを提供すべきた。

## 答 現在は住民自治組織づくりに活用

☎ 仙頭 市長

現在の地区担当制は、行政サービス全体ではなく住民自治組織づくりを目的としているが、声の吸い上げはできる。

## 問 複数の町内会を担当せよ

町づくり協議会構想を推進するなら、協議会単位でなく、複数の町内会単位で担当制を採れ。

## 答 自治会組織案について

☎ 仙頭 市長

夜須、赤岡、吉川では複数の町内会単位の自治会組織で担当制を採用。野市は、町づくり協議会単位であるが、今後、各自治会単位で担当制を検討する。

# 赤岡中学校を三学期制に



志磨村公夫議員

赤岡中学校は、二学期制となり五年目になる。メリット・デメリットは、いろいろあると思うが、三学期制に直す考えはないか。

## 答 取り組みを検証し報告する

別役 教育長

赤岡中学校の二学期制については、今まで取り組んできたことを検証して、三学期制に直すか、二学期制で行くのか、検討する。

## 問 太陽光発電設置事業答弁はウソだったのか

昨年十二月議会での太陽光発電設置事業の質問に対し、赤

岡・吉川・岸本の各小学校にもこの事業を必ずやると答弁した。

本年度の予算と振興計画第四期実施計画にも上がっていないが、この事業を必ず早い時期にやるといふ答弁はウソだったのか。

## 答 補助事業・交付金事業を注視しながら順次設置

別役 教育長

現在、二十一年度の繰越事業として、夜須・野市東・佐古・香我美の各小学校へ設置工事を進めている。赤岡・吉川・岸本各小学校への設置については、昨年十二月議会で答えたとおり、順次設置する。

## 問 赤岡市民館への支所移転による影響は

六月一日から、赤岡市民館に支所が移転したが、市

民館（児童館・児童クラブ・隣保館）機能との問題はないか。

## 答 工夫と配慮が必要と考える

百田 人権課長

支所が移転したばかりで、直ちに判断はしづらいが、市民館の各事業については、特に機能しないということはない。ただ、多くの住民の来庁が予想される業務には、工夫と配慮が必要になる。

## 問 目的変更して使用させよ

赤岡市民館横の大型共同作業



有効利用が待たれる共同作業所

所は、現在使用していないが、市民館に支所が移転してきたので、有効利用の面からも目的変更して、使用させる考えはないか。

## 答 有効活用について検討する

百田 人権課長

景気の低迷などにより誘致企業も撤退し、施設の利活用が課題となっており、運営審議会などを設置し、今後の有効活用について検討する。

## 問 「男女共同参画」「人権教育・啓発推進」の両プランの事業計画は

三月議会において、「各課から提出される両プランの本年度実施計画を市民で構成する推進審議会に提案する」と答弁している。

## 答 早急に取りまとめ推進審議会に提案したい

百田 人権課長

三月議会で、実施計画書など

を推進審議会に提案すると答弁したが、作業が遅れ推進審議会を開催していないことをお詫びする。

早急に取りまとめを行い推進審議会に提案する。

事業の具体的内容は、多岐にわたっており、一つ一つの説明は困難であるので了解いただきたい。

## 問 交通安全対策はできないか

赤岡市民館横の市道については、国道五十五号線の抜け道として、スピードを出した車が通り抜けて危険な状態である。香南警察署と協議して、交通安全対策はできないか。

## 答 警察署と協議し検討する

宮田 防災対策課長

市民館に支所も移転し、来館する市民も多くなるので、職員に啓発を行い、香南警察署と協議し、交通安全対策を検討する。

## 子宮頸がん予防 ワクチン接種の全額補助は



森本恵子議員

子宮頸がんは二十代三十代の女性に急増、特に自覚症状がないため発見の遅れにより年間一万五千人が発症、そのうち死亡者は約三千五百人と推計されている。子宮頸がんはウイルスが原因のためワクチンを投与することによりほぼ一〇〇%予防可能といわれている。全国的にも小学校六年生の女子を対象に集団接種を実施する自治体が増えつつある。本市の見解は。

### 答 国の動向を 視野にいれ 検討をしていく

宮崎 健康対策課長

費用が約五万円と高額なことから接種が進んでいない状況、国では公費助成の検討をしている。

る。全国でも独自の助成をしている自治体も増えてきている。重要性は十分認識しているが他の任意の予防接種も含め検討をしていく。

### 問 在宅介護家族の 実態は

二十年度内閣府のアンケート調査では、介護者の七〇%が女性。その多くは「自分ががんばらなければ」との思いで心身へのストレスを感じながらも日々孤軍奮闘をしている。本市は二十一年度聞き取り調査をしているが、その結果はどのような実態であったのか、その実態に即しての改善策は。

### 答 介護者の多くは女性 相談やサービス 調整を図っていく

小松 高齢者介護課長

本市では支援施策として在宅介護手当、介護用品支給事業、外出支援事業、家族介護者交流事業などがある。今後は専門医

### 問 病児・病後児保育 の進捗状況は

二十年度、二十一年度九月議会にて質問、他市町村を参考に調査研究することだったが現在までの経過報告は。

### 答 事業実施は可能

岡本 こども課長

託児施設のある野市中央病院に、託児施設を借りての事業を相談。その施設は現在、月曜日から金曜日までは使用していないことや小児科の医師がいること、子どもの具合が急に悪くなった場合すぐに診察可能。病児・病後児保育の実施については香美郡医師会の協力が欠かせないことから現在協議を行っている。



みどり野宿舎に隣接する公園

### 問 買い物難民の実態 と支援策を問う

みどり野スーパー閉鎖により特に高齢者の方や車に乗れない方は買い物難民になってしまった。あと数年すると他地域よりも高齢化が進む。行政としての対応策は。

### 答 公共交通の充実や 住民同士の助け合い

田内 企画課長

買い物難民の実態調査は行っていない。支援策の一つとしては公共交通の充実を考えている。また移動販売や宅配サービスなどの方法を今後の研究課題とする。

## 夜須幼稚園の あずかり保育をどうする



猪原 陸議員

香我美幼稚園は、毎週土曜日  
も午前七時三十分から午後六時  
三十分まで実施している。野市  
東幼稚園と野市幼稚園は保育所  
と幼稚園との申請時に区分され  
ている。夜須幼稚園は土曜日の  
あずかり保育はないが、今後実  
施する考えはないか。

### 答 検討する

岡本 ことも課長

夜須幼稚園の土曜日のあずか  
り保育の必要性については、今  
後保護者のニーズ調査を行って  
検討していく。

### 問 前向きに 取り組むべきだ

毎年ニーズ調査をし、少数意

見も入れて前向きに取り組むべ  
きだ。

### 答 調査はする

岡本 ことも課長

毎年ニーズ調査していく。



香我美小学校北側の水路

### 問 香我美小学校の 周辺環境整備を

小学校グラウンドの北側の水  
路は、有岡自治会が管理をする  
ことと聞いたが、水路の堆積土  
砂除去をするには土砂止めの竜  
のひげを植えている所と土砂止  
めのできない状態の水路が六二  
メートルある。その先が暗きよ  
で、一八五メートルある。水路  
はグラウンドの下を通り市道を  
横切り、鳴子の水路に抜けてい  
る。土砂止めの対策と、楠の枯  
れ枝の撤去を。

### 答 最善の対策をとる

伊藤 学校教育課長

小学校校舎北側の運動場フェ  
ンスの内側と外側に二つ水路が  
あり、内側の水路は運動場の雨  
水が流れている。水路は一部し  
か対応していないため、未設置  
部分の雨水対策として、運動場  
部分をカバーできるように水路の  
延伸などの改修工事を行い、学  
校環境整備の充実を図る。また  
フェンス外側の水路は、土砂の  
浚渫など今後の維持管理の方法  
を学校、地元関係者と協議し、  
最善の対策をとる。

### 問 歩道の安全対策は

自衛隊の官舎もでき、またミ  
ネルバの駐車場跡地が先生や保  
護者の駐車場となり、児童や園  
児保護者など、たくさんの方が  
歩道を歩いて来ている。歩道が  
大きく崩れており、雨水も溜ま  
る状態だ。早急に修繕を。

朝の小学校付近は、送迎で車  
の往来が激しい。園児や児童の  
安全対策は。

### 答 検討する

伊藤 学校教育課長

県道横の歩道は雨水が溜まる  
状態になっており、通学通園時  
に支障をきたしており、県と現  
地の状況を確認した。県として  
は歩道にオーバレイをかけ、  
傾斜をつけ雨水が溜まらないよ  
うに改修方法を早急に検討す  
る。横断歩道については警察署  
の担当課とも協議を行い、安全  
対策を検討する。

# 老人医療保険制度に戻せ



杉村正毅議員

高齢者の先行きの安心を奪い、生きることを拒否する後期高齢者医療制度は、即時廃止し、元の老人医療保険制度に戻すよう、国に強く申し入れよ。

担の抜本的増額による、国保再建を目指すよう、国に強く申し入れよ。

## 答 国保税を上げることに限る

仙頭市長

財源不足額を、国保税を上げることで賄うことには限界がある。国庫負担を上乗せすることや、国や県から財源措置を求める働きかけを行う。

## 問 老齢加算の復活を

仙頭市長

「生活保護費の老齢加算廃止」は、生存権の否定で、憲法違反だ。直ちに母子加算と同じように、復活さすよう国に申し入れよ。

## 答 復活要望は考えていない

仙頭市長

復活要望は考えていない。ただ、厚労省は今後高齢者の生活実態調査をして、保護基準を考

## 問 国庫負担の抜本的増額を

本年度から、国保料の負担限度額が七十三万円に引き上げられた。「低所得者層の負担を軽減するため」と言っているが、実質庶民負担増となる。国庫負

えるとしており、国において、高齢者世帯の最低生活水準が維持されるよう、生活保護基準の体系の中で検討してもらいたい。

## 問 介護保険の改善を

医療、介護の厳しい現実

利用者には悲鳴をあげている。介護保険の問題点は、国庫負担の引き上げなしには解決できない。①介護保険財政の公費割合を増やすこと②要介護認定制度を廃止すること③低所得者の重い保険料・利用料の引き下げを国に申し入れよ。

## 答 社会保障審議会の動向を注視

仙頭市長

介護認定は、介護保険制度の核となる重要な仕組みだ。今後も認定制度向上を行っていくべきだ。社会保障審議会の介護保険部会の動向に注視しながら、公費負担の拡大や、被保険者負担のあり方、認定制度の向上などについては、国に要望していく。

## 問 統合給食センターを見直せ

市が一方的に提起してきた、四千食の統合給食センター計画を見直せ。また、行政・議会・市民共同で、自校方式も含めて、時間をかけて検討すべきだ。

## 答 統合給食センターは選択肢の一つ

別役 教育長

四千食の統合給食センターは、選択肢の一つだ。現在四つの作業部会で調査・研究をしている。八月末までにまとめるというのは、あくまで目標だ。時間的には困難ではないかと思っている。

## 問 即刻原状回復を

白岩地区の東の尾根に、産廃施設の工事が、ほぼできあがっている。この場所は白岩地区の水源地でもあり、野市でも一番きれいな水と言われ、昔から地区住民の生活をうるおしている。この場所に産廃施設をつくることは許されない。経過と現状を示せ。また、住民説明会を

## 答 設置協議書は受理していない

仙頭市長

この計画は、本市と土地環境保全条例に係る協議が必要だ。五月十三日に、開発行為事前審査願書が提出されている。場所は、野市町東佐古の山林で、約二千六百平方メートルの面積で、目的は廃棄物処理場だ。木くずを年間約四百五十六トン焼却する計画だが受理はしていない。開発審査会では審査保留となっている。白岩地区などの住民への説明会は開催するよう、申請者に要請していく。内容を各種法令や、本市の基準に照らし、慎重に審査していく。



早急に開け。この廃棄物処理場は、即刻原状回復をさせよ。

# 議案審議

●報告第二号 専決処分報告  
について(二十一年度水道事業会計予算の繰越計算書の報告)

## 説明

配水設備整備事業の翌年度への繰越額は、一千五百万円となっている。

この事業は、野市町西野地区の汚水管渠布設工事に伴う水道管布設替工事で、下水道管の布設と同時に施工のため予定より施工の日数を要したことにより繰り越したものだ。

## 問 なぜ下水道が上か

自動車学校の東では、旧野市町の時から、水源地と役場などとの連絡をする大きいケーブルが布設されていた。旧式だったので、現在はそこの数の本しか使われていないにもかかわらず二十芯以上の大きいケーブルを、なぜ布設したのか。

通常は、事故発生率が高い上水道が上に埋設されているが、現場は下水道が上で上水道が下に入っているようだがなぜか。

## 答 現場の状況によって

北野 上下水道課長

通信ケーブルについては、将来を見越し、通信機能を充実するために、ある程度太いものを入れてある。

配管については、上水道が上で下水道が下ということが基本になっている。

その現場の状況によって対応をしている。

## 問 基本で改善すべき

通信ケーブルについては、今まではアナログ式だったので、非常に本数が多くあった。今後も使うということだが、工事箇所前後で、接続されている本数が違うというようなこともあり、整合性をとった本数のケーブルを入れるべきだ。

下水道が上にあることは、事故発生率の高い上水道の修理を行うとき、非常に施工しにくい。基本的なものは基本的なものとして改善すべきだ。

## 答 基本的な施工方法で

北野 上下水道課長

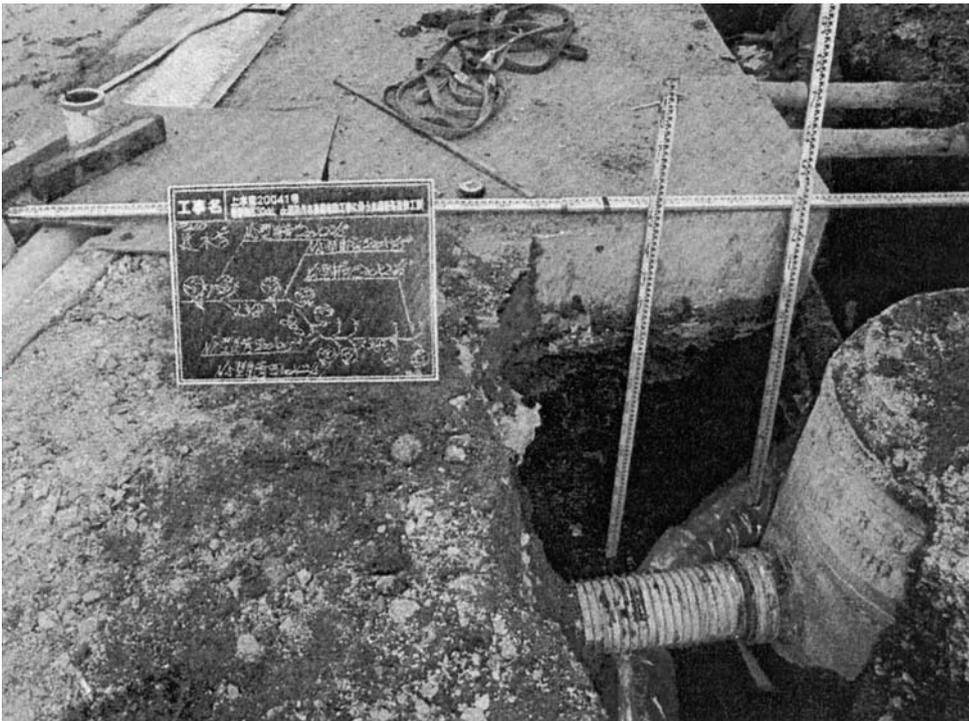
下水道管、上水道管の布設については、指摘の通りだ。

今後も基本的な施工方法で取り組んでいく。

●議案第五号 非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

## 説明

本件は、市保幼小中連携子育て教育推進事業の七つの柱のうち



水道管布設替工事

ちの一つである小学校五、六年の教員相互乗り入れや専科制に向けての非常勤講師の配置に基づき、市内の小学校五、六年の理科、音楽、算数などの教科指導、学習支援にあたる非常勤講師を配置するための条例の一部改正。

時給単価は高知県教育委員会が雇用する非常勤講師の報酬額に準じた二千七百九十円としている。

## 問 十分に行えるか

先生方が香南市の子どもを教えるのに、十分な余裕を持って行えるのか。

## 答 十分に行える

🎙️ 松木 教育次長

現在、小学校五年生でも音楽、算数、理科の方で担任の先生がこの教科にあたってはいる学校もある。こういった講師の先生を配置することによって、時間的な余裕もできてくるので、他の授業、他の指導にもあたる時間ができる。講師の先生も、最初からこの専科を任せるので



はなく、徐々に慣れてもらわなくてはいけないので、最初はその担任の先生についてもらって、授業の内容や指導方法も勉強していきながら、しっかりとした指導力がついた段階で、一人で専科の方にあたってもらうようにしているの、十分なことはできる。

● 議案第七号 二十二年度一般会計補正予算第一号について

## 説明

歳入歳出の総額にそれぞれ二千二百二十九万円を追加し、歳入歳出それぞれ百八十三億九千三百四十八万一千円とするもの。

## 問 県と話し合い 予算計上を

● 議案第七号 二十二年度一般会計補正予算第一号について  
県の「問題を抱える子どもへの委託金」が二百五十万円減額に

なっている。採択を確かめてから、しっかりとした予算を計上しないと、財政課としても思惑が違ってくる。財源の問題について、教育長はしっかりと県教委との話し合いをせよ。

## 答 指摘のよう

🎙️ 別役 教育長

最も基本的なことであるので、指摘のように取り組んでいきたい。不確定な段階での予算計上ということは控えたい。

## 問 指定寄付は 学校の意向で

赤岡中学校への特定指定寄付の件だが。

収入で百万円計上され、教育費の中学校費の中の、教育振興費の中に百万円が計上されている。その中の八十九万一千円が、赤岡中学校の備品となっているが、指定寄付であるので、全額赤岡中学校の方で自由に使うべきでないか。

## 答 寄付者の意向で

🎙️ 松木 教育次長

この寄付金については、機械の購入、またソフトの購入についての指定寄付ということなので、その意向を踏まえてこのように活用した。

## 問 なぜ今回は有料か

オンデマンド交通は、前回無料で、今回有料というのは、どういう意味か。

実際の運行料金に適した、バスより高くハイヤーより安い料金の設定だが、どうしてそういうふうに変えたのか。

## 答 目的の相違による

🎙️ 田内 企画課長

前回の事業は、CO<sub>2</sub>の削減という目的から国が直接事業を行った。今回は、公共交通全体を考える中でオンデマンド交通の導入ということだ。導入時を考慮し、有料で実証実験を行うものだ。

【歳出】

**問** 修学援助申請は

扶助費の申請方法について委員会は、各学校で申請用紙などを配っていると思うが、この制度の周知の仕方、ただ申請せよとか、修学援助の申し込みの用紙の申請とかだけではなく、どのような指導を、学校長にしているか。

**答** 所属長会で説明

伊藤 学校教育課長  
周知の方法は、毎月所属長会、校長会などで、説明をしている。

**問** 該当者への説明方法は

本当に生活に困っている人に対して手を差し伸べるということも行政の仕事だから、どういう方法でやったらよいかということを答えてもらいたい。

**答** 学校で行う

松木 教育次長  
これまででは、入学式などで、

保護者の方に説明をしてきた。これは随時受け付けをしているので、制度の周知についての配慮も学校側で行うよう、十分指導もしていく。

**問** 修学援助の対象は

扶助費の関係で、原則、非課税世帯でないと、対象外なのか。要綱の中で、非課税以外にも生活状況が困窮をしている場合、対象となるのか。

**答** 総合的に判断し決定

松木 教育次長  
課税されているので準要保護に当たらないというわけではない。総合的な判断の中で決定をしている。

**問** 修繕額が大きすぎる

香我美トレーニングセンターの東側二階窓の雨漏りを防ぐのに七百二十七万七千円。額が大きすぎるが具体的に説明を求めらる。

**答** 最大限で見積もり

吉田 生涯学習課長  
現在三つの工法が提示され、最大限この数字ということでの見積もりをしている。ただ予算

がついたからといって、この数字で工事を施工するというのではなく、事業内容、工事施工内容をコンサルタントの方と話めている。

**問** 予算は仮定で組むのか

予算の組み方は全部そのような仮定で組んでいくのか。今の答弁を聞くと予算の組み方に疑問を持つ。どうなるか分からないというような予算の組み方をしているのか。

**答** 見積書や設計書に基づく

光明院 財政課長  
工事にかかるものについては、まず見積書や設計書などを提出させ、それに基づいた予算計上をしている。



雨漏りが激しい香我美トレーニングセンター



# 審議した議案

## 六月議会の審議結果

- 専決処分報告について (一～五号)
- 副市長の選任について (全員同意)
- 監査委員の選任について (全員同意)
- 職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
- 職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例について
- 非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 二十二年度一般会計補正予算

### 第一号について

- 二十二年度国民健康保険特別会計補正予算第二号について
- 二十二年度介護保険特別会計補正予算第一号について
- 二十二年度簡易水道事業特別会計補正予算第一号について
- 二十二年度下水道事業特別会計補正予算第一号について
- 二十二年度農業集落排水事業特別会計補正予算第一号について
- 二十二年度漁業集落排水事業特別会計補正予算第一号について
- 二十二年度後期高齢者医療保険特別会計補正予算第一号について (以上全員賛成＝可決)
- 選挙管理委員会委員及び同補

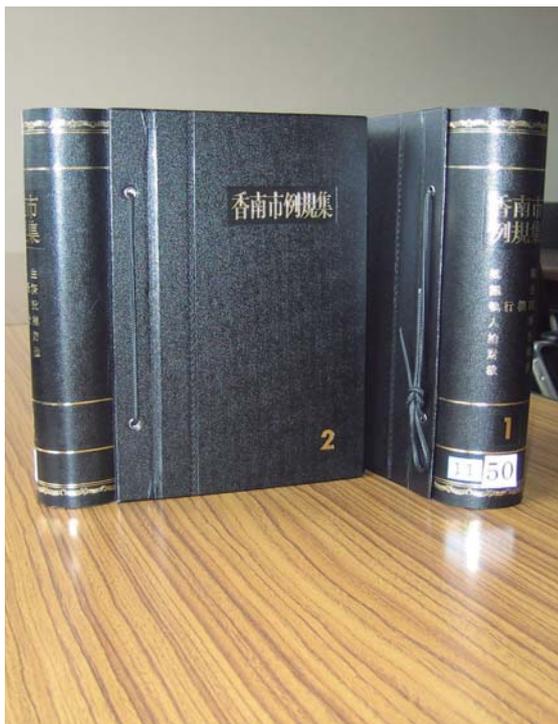
### 充員の選挙について (指名推選)

- 選挙管理委員会委員
- 一番 久保壽男、二番 山本道生、三番 田村章、四番 山上恵美
- 補充員
- 一番 井上準二、二番 小谷敬子、三番 山崎史凡、四番 山崎厚生
- 高知県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙 (二本富士夫 二十票、下元文雄 二票)

### 香南市議会会議規則の一部を改正する規則について (全員賛成＝可決)

## 意見書

- 郵政民営化の抜本的見直しに関する意見書 (賛成少数＝否決)
- 女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書 (全員賛成＝可決)
- 核持ち込み密約を破棄し非核三原則の遵守を求める意見書 (賛成多数＝可決)



香南市例規集(条例や規則を集めた法例集)

## 編集後記

最近、「もし高校野球の女子マネージャーが、ドラッカーの『マネジメント』を読んだら」という本を読んだ。マネジメントは企業だけに限定されるものではなく、全ての組織運営に必要なもの。「われわれの事業は何か」「顧客はだれか」を常に問いながら組織の使命を果たしていく必要性を学び、「野球部の使命は何か」「仕事を通じて働く人を生かす」「社会に貢献する」とはどういうことかを自問自答しながら、甲子園を目指していくというストーリーの中で、マネジメントというものをつかみやすく解説してくれている本である。

これを現在の市政運営に当てはめるとどうなるだろう。「市政の顧客は誰で、議会・行政の使命は何?」「仕事を通じて人(住民や職員)を生かしているだろうか。」「企業・自らの社会貢献をどう進めているだろうか。」「市議会議員となって今一度、自問自答している日々である。